

令和5年度 新居浜市立別子小・中学校 学校評価

1 結果

(1) 集計結果

※ 評価の平均値（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）に基づいての評価平均値、最高評価は4となる。

令和5年度 別子小・中学校教育活動に関するアンケート結果						
項目	No.	内 容	児童	生徒	保護者	教員
Ⅰ 学 校 経 営	1	小・中学校は、地域とともに育つ学校を実現している。	3.0	3.8	3.7	4.0
	2	小・中学校は、積極的な授業公開と情報発信に努めている。			3.8	3.9
	3	小・中学校は、ESDを推進し、持続可能な社会の担い手育成を目指した教育活動をしている。	3.0	3.4	3.8	4.0
Ⅱ 教 育 活 動	4	子どもは、基礎的・基本的な知識及び技能が定着している。		3.8	3.7	3.0
	5	小・中学校や異学年間の連携や協働は適切である。	4.0	3.9	3.8	3.8
	6	ICT機器（タブレットパソコン等）を活用した個別最適な学びがなされている。	3.3	3.3	3.8	3.9
	7	主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができています。	3.3	3.7	3.8	3.7
	8	個性や可能性を伸ばし、自立と社会参加に向けたキャリア教育を実践している。	3.3	3.6	3.5	3.9
	9	コミュニティスクールの強みを生かした教科横断的な学習が行われている。		3.9	3.8	3.8
	10	自ら進んで学び活動し、継続して実践できる児童生徒を育成している。	2.3	3.0	3.9	3.7
	11	一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導や支援を行っている。	4.0	3.8	3.5	3.8
	12	いじめを許さず、自他ともに大切に作る児童生徒を育成し、居心地のよい集団作りを行っている。	4.0	3.9	3.8	4.0
	13	健康や安全に関して正しく判断して、行動できる児童生徒を育成している。	3.7	3.5	3.8	3.6
	14	別子山地区での体験や経験を通して、生命への畏敬の念と共生の心の育成に取り組んでいる。		3.8	3.8	4.0

なお、児童は10項目のアンケートを行い、生徒・保護者・教職員アンケートと関連付けている。

(2) 教職員アンケート（記述式）※主な意見を抽出

『1 学習指導に関すること』

- 「ノー宿題デイ」を始めてみたい。生徒の生活にゆとりを生んで、その余暇をどのように使っていくかも大切な学びの機会になると思う。(中)
- 一斉一律の宿題を減らしている意図を生徒に伝えていきたい。(中)
- 一人一人の学習状況に合わせて、内容や進度を調整することを心掛けている。学習内容の定着については不十分な箇所があり、今後も指導と評価の一体化を図りながらよりよい学習指導を行っていく必要がある。(小)

『2 生活指導に関すること』

- 服装の自由度が増したが、違和感を感じたり、困ったりすることはない。やはり、ルールや慣習など、変えられるところは積極的に変え、その後振り返って、問題があれば軌道修正していく、そんな姿勢が大切なのかなと思った。(中)
- 学校生活のきまりが大幅に変更となり、これからの時代にあった考え方のもと、生徒・教員ともに行動していると思う。(中)
- 強い語気の指導は、生徒の思考停止を招くことが多く、自分を改善したいという気持ちよりも怒られたくないという気持ちが強く働くため、自主的な改善にはつながりにくいと思う。命や人権などに関わることは、必要であるが、そうでない失敗は必要ないと思う。(中)
- 生活習慣の改善に向けて、養護教諭と連携しながら指導することができた。しかし、改善の様子はあまり見られないので、指導を継続するとともに、指導のあり方について再考する必要があるのかもしれない。(小)

『3 学校運営に関すること』

- それぞれの立場や視点で子どもたちのことを見て、関わっているので、教員の中でもうまく任せたり、任されたりしながら協働できていると感じる。(小)
- 活動の振り返りの共有から来年度に向けた改善に向けて、うまくいかないことも大切にしながら建設的な対話ができているので、前向きに活動できている。(小)
- 宿題や学校生活のきまり、探究の話合いなど、教職員が自分と異なる意見も尊重しながら対話できている。安心安全の空間がある。大人が対話しないのに、子どもに対話しなさいと言うのは、説得力がないので、大人の対話の土壌はこれからも大切にしたい。(中)

※児童・生徒及び保護者からの記述は特になし

2 アンケートの分析

(1) 児童・生徒アンケート

アンケート14項目中7項目が評価平均値3.5以上でだった。特に高い評価となったのは、項目番号5・11・12であった。

また、12に関しては、構成的グループエンカウンター年間5回に加え、別子スマイルタイムと称した小・中合同のエクササイズにより、感情の交流を行い、自己や他者の理解を深めるスキルを高めた。小・中全ての教職員で児童・生徒を見守り、情報共有に努めていることが、児童・生徒の「いじめ」を許さない風土の醸成にも繋がっていると考えられる。

(2) 保護者アンケート

アンケート全ての項目において評価平均値が3.5以上の高評価となっている。1・4・8・11以外の全ての項目が、それぞれ3.8以上の特に高い評価を得ている。

教師が児童・生徒たちの「学びの伴走者」として、子どもたちに寄り添い、真摯に向き合ってきた成果であると考えます。また、それ以外も含め学校の教育活動及び寮生活の様子を、ホームページや「学校だより」、「寮だより」の他、生徒会のインスタグラム等で様々な情報発信を地道に行い、保護者や地域の教育活動への理解や協力を努めてきた成果でもあると考えます。

(3) 教職員アンケート

アンケート14項目の内13項目で評価平均値が3.5以上で、高評価である。特に項目1・3・12・14が、4.0の最大評価である。今年度の地域との連携・協働は、4年目を迎えた「別子ファーム」だけにとどまらず、「地域交流対話活動」を増やし、地域のより多くの大人と「名前」で呼び合える程の親密な関係を構築することを目指してきた。その成果が出始めていると考えます。

3 アンケートの結果からの課題について

項目番号10「自ら進んで学び活動し、継続して実践できる生徒を育成している。」について、保護者・教職員の評価は高いにも関わらず、児童・生徒の評価が低いことについては、今後教職員で研修し、より良い手立てを考えていきます。

4 学校評議員による学校評価（記述）

(1) 学校評価アンケート結果の感想

- 教員・保護者・生徒の評価にあまりばらつきが無く、同一認識で良い傾向で学校生活が出来ている。
- 「学校生活のきまり」が変更になり、違和感を感じたり困っていることがないことが嬉しい。その場にふさわしい髪型や服装を自分で考える人になってほしいし、自由度が増して喜ぶことよりも、自分で考える難しさを義務教育の間に学んでほしいと思う。
- 保護者の評価が、項目すべてで3.5以上の高評価であることが素晴らしい。子どもたち自身も高評価で、学校生活に対する満足度がうかがわれる。
- すべての項目で評価が高くて素晴らしい。また、現在進行形の色々な取組を行っている様で、今後の楽しみがあり、会での報告が待ち遠しい。
- 強い語気の指導について、「そうでない（命や人権について以外の）失敗は必要ないと思う。」とあったが、私はそうは思わない。

(2) 児童生徒の良い点や伸ばす必要がある点について

- 子どもたちといつ対面しても、きちんと挨拶ができ素晴らしい。別子ファームの活動は、一から作物を作ることで、収穫の喜びを感じ、食に対するありがたみがわかる活動であると思う。継続してほしい。時代は変わろうとも、食べて寝ての一連動作は一生変わらないと思う。これからも、すべてにおいて迷ったら基本に変えることを指導してほしい。
- 挨拶はよくするようになった。ただし、2人以上いる時だけ。1人の時は挨拶は出来にくいようだ。
- 運動会の競技について、生徒が考える競技があってもいいかなと思った。地域主体の運動会のため、難しい部分もあるかと思うが。

- 本人が気付きや発見を戸惑うことなく発信できる環境作り。分からないことはダメではなく質問してお互いに高めあえる環境作り。
- (3) 学校や教職員に対してのご意見
- 先生方は子どもたち一人一人の将来を預かる大事な立場。常に子供たちと正面から向き合い、ご指導をお願いしたい。
 - 十分に生徒の事を考えていると思う。
 - 生徒自らの意志で、地域行事に参加できるようになる関係性を構築していきたい。
 - 生徒・児童だけでなく、教職員もこちらから挨拶しないと出来ない。
- (4) その他
- 市街地の学校と違い、家庭が地域内にない難しさを感じる。地域の方からは、保護者がお客さんのように映る運動会。できることは何でもしたい気持ちはあっても、学校まで片道1時間の距離は、共働き家庭が多い今、何度も足を運ぶことは容易なことではない。コロナ禍で入学し、人との接触を避けてきたことしか知らない学年の保護者としては、コロナ前の「当たり前」が分からない。保護者同士の関わりがもう少し持てる機会があればと思う。奉仕活動も、負担に感じる保護者もいるかもしれないが、それも含めて覚悟を決めて別子中へ入学したと思う。昨年実施した他学年の保護者の方とも話をしながらできる奉仕活動は、楽しかった。
 - 大人として子どもたちに伝えなければならないことを、躊躇せずに伝えていきたい。
 - 学校活動に参加することが少なくて申し訳ありません。運動場から時々、楽しい笑い声を聞く事がある。今後はその笑顔に会える機会を増やしていけたらいいと感じている。
 - 先生方、朝早くから通勤ご苦労様です。運転等くれぐれも気を付けてください。